



(275)

中学生向け

年組

2025年8月21日付・下野新聞1面

LRT乗客1000万人突破

想定より6カ月早く

開業から2年

宇都宮市と芳賀町を結ぶ次世代路面電車（LRT）を運行する宇都宮ライトレールは20日、開業からの累計利用客数が19日で1千万人を突破したと発表した。当初の想定より6カ月早く、開業から725日目での達成となった。平日は通勤・通学客で混み合い、土日・祝日も好調に推移する。2023年8月26日の開業から間もなく2年。運行の定時性や料金設定などが後押しし、地域に根付いた交通インフラとなっている。

定時性や割安感後押し

LRTは宇都宮駅東口（芳賀・高根沢工業団地の14・6時、全19停留場を45分（快速42分）で運行する。同社によると、本年度は1日の利用客数が平日は約1万8千〜2万人と、当初の需要予測（初年度約1万

2800人）を大幅に上回

る。特に最短4分間隔で運

行する午前7時台は、沿線

（初年度約4400人）を

の工業団地や学校への通勤

・通学客で混雑し、同駅東

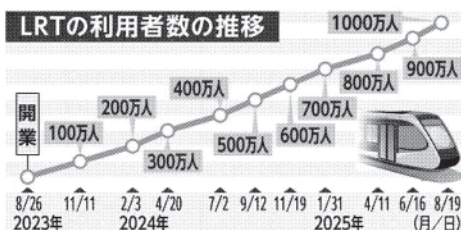
口停留場を出る時点で定員

159人を上回る便が多

見込んでいたが、想定を上

回る好況ぶりとなっている。

LRTの利用者数の推移



要因の一つが定時性。平日の通勤通学時間帯は4〜10分、日中や土日・祝日は12分間隔で運行する。料金

佐藤栄一宇都宮市長 毎日の安全運行の積み重ねにより、多くの方のライフスタイルに溶け込み、開業2周年を前に利用客数が1千万人に到達したことを大変うれしく思う。引き続きライトレールを基軸としたまちづくりを推進し、「スーパースマ

1トシティの実現を目指していく。大関一雄芳賀町長 LRTの利用客数が当初の計画よりも早く1千万人に到達したことは大変喜ばしく、地域の活力につながる。今後も快適で便利な公共交通の充実に努めてい

は最大400円で、ICカードを使えばどのドアからも乗降できる利便性から乗客の大半が利用する。沿線には映画館などを併設した大型商業施設やスポーツ施設があり、年間を通じて利用者を獲得。100万人ごとの到達間隔も短縮化し、900万〜1千万人は最短の64日間だった。1日当たり利用者数の最多は4月18日の2万1971人。沿線で開かれた大相撲宇都宮場所や、人気アニ

メ映画の公開初日が押し上げたといわれる。次いで、うつのみや花火大会開催日の9月9日が2万1890人（速報値）だった。課題は朝夕の混雑解消。同社の酒井典久社長は「多くの方に利用いただき大変ありがたい」とした上で「ダイヤの見直しなど工夫して取り組んでいきたい」と説明。追い風となる駅西側延伸事業については「県や県警、宇都宮市、芳賀町と協力して推進していきたい」と話した。

設問

【1】次の漢字を書いてみよう。分からなければ、記事から探して練習しよう。
ていりゅうじょう、じゅうよう、えんせん、かくとく

【2】この記事から分かる情報として正しいものには○を、間違っているものには×を書きましょう。
ア 開業から丸2年たたないうちに、LRTは利用者数の累計が1千万人を超えたが、これは当初の予想よりも早い。

イ LRTは手頃な運賃設定と、毎日同じダイヤでの運行がもたらす安定した定時性で、地域に根付いたインフラとなってきた。

ウ 通勤・通学に利用する客で、特に朝7時台は混雑し、始発駅を出発する時点で乗車率が100%を超えている列車も多い。

エ 宇都宮市長・芳賀町長ともに、LRTを重要なインフラとして考えており、現状抱えている課題解決に意欲を持っている。

オ 沿線で大規模なイベントがあると、利用客が増加する傾向があり、1日当たりの利用客が最も多かった日にもやはりイベントがあった。